

高校生ワークショップ結果

1. ワークショップ概要

(1) 趣旨

現在、枚方市環境審議会地球温暖化対策実行計画策定部会において、新たな温暖化対策実行計画の策定に向けた検討を進めています。枚方市らしい計画にするため、市民の生の声、特に今後を担っていく若い世代が、地球温暖化についてどのように感じているのかを聴取する機会を設けました。

(2) 実施概要

日時	2021年11月6日（土） 13:30～16:40	
場所	枚方市市民会館 3階 第3会議室	
参加者	対象者	枚方市内の高校に在学している生徒 (24名【男性11名、女性13名】) ・大阪市立高等学校（2名） ・大阪府立枚方高等学校（6名） ・大阪府立枚方津田高等学校（3名） ・大阪府立牧野高等学校（1名） ・常翔啓光学園高等学校（2名） ・大阪府立枚方なぎさ高等学校（8名） ・関西創価高等学校（2名） ※ご参加いただいた高校生の半数以上が枚方市民でした。
	アドバイザー	大阪産業大学 デザイン工学部 環境理工学科 花田眞理子教授
	グループリーダー	大阪産業大学学生（5名）
	ファシリテーター	エヌエス環境株式会社（3名）
	事務局	枚方市 環境部 環境政策室
ワークショップの形式	5グループ（4～5名）でのグループディスカッションおよび発表	

(3) ワークショップの進め方

【開会・導入説明】

地球温暖化の現状について説明

【グループワーク】

①役割分担

②「地球温暖化は、どんな影響を引き起こすと思う？」

「カーボンニュートラルを達成して、どんな枚方市になると思う？」

③各グループ中間発表、情報共有（各グループ1分程度、合計10分）

④「地球温暖化に対して、私たちにできることは何だろう？」

「地球温暖化対策について、多くの人に知ってもらうにはどうする？」

⑤グループ発表

⑥ワークショップ総評

【アンケート記入・閉会】

参加者アンケート記入後、終了

2. ワークショップまとめ

●「地球温暖化は、どんな影響を引き起こすと思う？」

- ・地球温暖化による気になっている影響については、「海面上昇」や「食糧難」「砂漠化」「氷河が融ける」「生物多様性の喪失」など地球規模の事柄や、「気温上昇」「春・秋が短い」「ゲリラ豪雨」「熱中症患者の増加」など、それぞれが日常生活の中で感じている地球温暖化による影響まで幅広く意見が出されるなど、地球温暖化が多くの悪影響を引き起こすことについて、活発な話し合いが行われた。学校の授業やニュースなどで得た知識だけではなく、実際に地球温暖化による影響を感じている高校生が多いことがわかった。

●「カーボンニュートラルを達成して、どんな枚方市になると思う？」

- ・「化石燃料が使われていない」「CO2の排出が少ない製品の提供といった企業意識の変化」「環境と経済の両立」「フードロスをなくす」などといった社会システムに関することから、「緑が増える」「電車利用の促進のため、市内に駅が増える」「バス専用車線を設け、交通渋滞をなくす」といった「まち」に関する事、「エコバックを持つ」「電気の無駄遣いをなくす」「みんなが緑のカーテンに取り組む」といったライフスタイルに関する事まで幅広い意見がだされた。すべてのグループで「緑との共生」に関する意見が出されており、カーボンニュートラル達成による理想の将来のまちの姿として、「まちなか緑化の推進」を多くの高校生が望んでいることがわかった。また、こうしたことにより、「枚方市の知名度が上がる」といった意見があった。

●「地球温暖化に対して、私たちにできることは何だろうか？」

- ・「レジ袋ではなくエコバッグを使用する」「電気の無駄遣いはしない」「ゴミの分別（3R）の徹底」「食べ残しを減らす」「プラスチック製品を使わない」「各家庭で緑を増やす」など、今できることについて、活発な話し合いが行われた。参加いただいた高校生にとって、将来の枚方市をイメージした上で、自分たちに何ができるか、しっかり考えてもらえる良い機会となった。また、「CO2の回収・資源化」「食品のごみの有料化」「地球環境問題について知識を深める」といった意見もあった。

●「地球温暖化対策について、多くの人に知ってもらうにはどうする？」

- ・世代ごとに合わせた宣伝が大事という答えが多く見られ、特に若者向けにSNS等の活用をもっと行っていくべきという答えが出ていた。そこに加えてテレビやポスターに有名人等を起用して、多くの人に關心を持ってもらおうという意見が多く寄せられた。また、今回のような環境に関するイベントを学校行事等にも取り入れるべきという意見もあった。高校生の意見から、環境情報の提供に関して、世代ごとに合わせた内容、ツールを用いて、効果的に実施していく必要があることがわかった。



将来の枚方市については、緑豊かで自然がより感じられると同時に、猛暑も抑えられ過ごしやすい生活になることを望んでいた。また、それに向けて多くの人たちと協力し合って、環境問題に取り組んでいく必要があると考えていた。

3. 参加者アンケートまとめ

地球温暖化の影響については「猛暑」や「海面上昇」、「気候の変動」等多くのグループで共通した意見があったものの、スポーツ等の屋外イベントが減る、野菜の収穫に影響が出るといった、グループ間での個性がしっかりと表れた。また、オリジナルキャラクターを作成してPRするといった独創的な意見もあった。将来の枚方市をイメージした上で、自分たちに何ができるか、しっかり考えてもらえる良い機会となった。

参加者アンケート内で、「面白かった・良かった点」について聞いたところ、「色々な人と交流する機会があったこと」が意見として多くあった。これは、コロナ禍ということもあり、たくさんの人たちで集まって意見を出し合うという機会が減っていた影響が大きかったように思われる。また、普段接することのない大学生や他校の生徒と様々な意見交換をすることで、「自分では思いつかないことを考える良い機会となった」という意見や、またこのようなイベントを開催してほしいといった積極的な意見も得ることができた。

4. 当日の様子

(1) グループ討議



(2) グループ発表



(3) 総評・記念撮影



5. グループワークでの意見

【A グループ】



○資料概要 テーマ1

地球温暖化は、どんな影響を引き起こすと思う？

- ・ 気温上昇
- ・ 海水温上昇
- ・ 酸性化（予想段階）
- ・ 海水の質が変わって漁業等に影響
- ・ ひふ病
- ・ 台風の威力が大きくなっている
- ・ 海面上昇
- ・ 土砂（災害）

カーボンニュートラルを達成して、どんな枚方市になると思う？

- ・ 他の環境問題にも取り組んでいく（他国の貧困等）
- ・ 緑との共生
- ・ 達成したあと、更に啓発することによって、地球温暖化に対する市民の意識をより高めて、次の目標（CO₂を更に減少させる等）に市全体で貢献していけたら良いと思う。
- ・ 異常気象被害が少なからず減少
- ・ 空気がキレイ
- ・ 自然豊か！
- ・ お花いっぱい

テーマ2

地球温暖化に対して、私たちにできることは何だろう？

【3R】

- ・ 大量廃棄→3R
- ・ ゴミの分別
- ・ リサイクルボックスの設置する量を多くする
- ・ ゴミ処理のときのCO₂を減らす→ゴミ自体を減らす（再利用）
- ・ ウォーターサーバーの設置→ペットボトルの使う量を減らせるから。

【節約】

- ・ 家電と自動車からのCO₂が多い→節電、よりよい電気自動車（燃料電池とか）の購入
- ・ ガソリンはハイオクを選ぶor水素を使う
- ・ 電気はLEDで無駄なく長持ち？
- ・ 無駄のない消費（電気、水道の使用、燃焼等）

【還元】

- ・ 多くリサイクルした人に、プレゼントをあげる

- ・地球温暖化対策をしている団体・企業を支援する→募金・その企業のサービス利用
- 【自然環境】
- ・各家庭で植物を育てる
- ・緑地開発の設けた側のメリット（直接的な）を作る→公園等を積極的に利用する
- ・自然を大切にする

地球温暖化対策について、多くの人に知ってもらうにはどうする？

- 【若者向け】
- ・YouTube及びYouTubeの広告を使う（Webの広告欄）
- ・ネットを使って知らせる
- ・ポスター及びSNS広告
- ・TVやCM広告で広める
- ・SNSで世界に発信

- 【全世代向け】
- ・広報誌や回覧板に入れておく
- ・ポスター（雑誌等）で知らせる
- ・ペットボトルやカバンなど、皆が普段使用する物に説明を記載する

- 【教育現場で】
- ・学校の授業、出張講義
- ・学校でも今回みたいなワークショップを行事に加える

- 【地域企画で】
- ・難しいものと思われぬように、楽しく伝える（小さい子にも分かるような体験型企画）

○発表概要

- ・気温や海面の上昇の深刻化を懸念している、またそれによって漁業や私たちの生活への影響が心配である。
- ・ごみの分別をしっかり行い、3Rがしっかりなされて、ごみ量を減らしていくことが大事である。
- ・プラスチックごみを減らすために、社会全体としてプラスチック容器などの製品が減る必要がある。そのためにも、水はウォーターサーバーから供給されるようにすべしだし、そうなってほしい。
- ・地球温暖化対策をしている団体・企業を支援することも大事だと思う。
- ・地球温暖化対策の周知方法として、若者向けだと「YouTube及びYouTubeの広告」や「SNS広告」などWeb中心で世界に向けて発信していくべきだと思う。
- ・全世代向けとしては、「広報誌や回覧板」にお知らせを入れて周知したり、地球温暖化対策についての「出張講義」を学校で行うこと、「体験型の難しいと思われぬイベント」で小さな子供たちにも伝えていけばいいと思う。

【B グループ】



○資料概要

テーマ1

地球温暖化は、どんな影響を引き起こすと思う？

- ・ 気温上昇
- ・ ゲリラ豪雨
- ・ 氷山が融けて海が大きくなる
- ・ 雨が多く降り、野菜などの価格が上がる
- ・ 熱中症などの病気が増える
- ・ 災害が増える
- ・ 様々な気候条件により屋外イベントの回数（機会）が減る
- ・ （四季がずれる等）極端な気候変動により生態系に影響（昆虫の排卵期や活動期のずれ、困難）
- ・ 海面上昇により陸地が減り、住まいがなくなっていく
- ・ 自然のある場所がなくなっていく

カーボンニュートラルを達成して、どんな枚方市になると思う？

- ・ 気温の温暖さが減って暮らしやすくなってほしい
- ・ 車が全部電気になってほしい
- ・ みんながエコバッグを持つ
- ・ リサイクルが当たり前になる
- ・ 化石燃料が使われない
- ・ 大気汚染を減らして病気になる確率を低くしてほしい
- ・ 交通量を減らすためにバス専用車線を設け、CO₂排出量を減らす
- ・ 木や植物が多い町
- ・ CO₂吸収のための植林等で景色に林が増えたらよい（並木道とか！）

テーマ2

地球温暖化に対して、私たちにできることは何だろう？

- ・ ごみの分別回収
- ・ 一家に1つ植物を育てる
- ・ なるべくレジ袋をもらわない（1枚の値段を上げる）

【市や国に対して】

- ・ 紙製のストローをもっと増やしてほしい
- ・ CCUS（CO₂の回収・資源化）の導入
- ・ お箸などもお金がかかるようにする
- ・ モールなどでエコbox（使わなくなったもの）などを設置して、困っている人にあげる
- ・ 食品のごみを回収するのを有料にする
- ・ エコバッグを持たせる
- ・ 自然とふれあって遊べるものを増やす

- ・もう少し道路の多い所に木を増やしてほしい
- ・CO₂排出削減と交通渋滞を防ぐため、バス専用車線を設けてほしい

地球温暖化対策について、多くの人に知ってもらうにはどうする？

【イベント】

- ・もっとSNSを利用する
- ・アニメ・漫画・映画やドラマなどの俳優等の有名人に協力してもらって見てもらえるようにする
- ・学校のひとつのイベントとして作る
- ・（楽しめるような）施設を作る
- ・YouTubeに案件を渡す
- ・テレビなどで5分くらいの小さな番組で取組を伝えたり、知らせる⇒コラボCMとか

【教育】

- ・これから親になっていく人が間違っことを子どもに教えないようにしてもらう
- ・小さい子どもが興味を持ってもらえるようなことで、子どもにも環境を大切にもらうように慣れってもらう
- ・学校での環境の授業をもっと増やす
- ・市が紹介スライド等を作成し、教育機関とに配布し、学校で先生を通して伝えてもらう

【宣伝】

- ・製品ラベルやパッケージに取り組み内容を明示し、目に留まるようなデザインにする
- ・SNSの公告で地球温暖化について知らせる

○発表概要

- ・地球温暖化による影響で、気温上昇によって氷河が溶けて、海面が上昇し陸地が減って住める場所がなくなる心配がある。
- ・大雨が増え、災害が起こりやすくなる可能性がある。
- ・地球温暖化によって、気温が上昇しすぎて、屋内でのイベントや活動が制限されるようになるかもしれない。
- ・カーボンニュートラルが実現すれば、急激に暑い日が減って過ごしやすくなると思う。
- ・車が全て電気自動車になり、リサイクルが当たり前になり、緑豊かな社会になってほしい。
- ・国や市に対して期待することは、プラスチック製品ではなく紙製品の利用促進、CCSやCCUS（CO₂回収・利用）の積極活用を進めてほしい。
- ・YouTuberや俳優などの有名人に地球温暖化対策の告知をしてもらう、SNSを利用して情報発信する。

【C グループ】



○資料概要

テーマ1

地球温暖化は、どんな影響を引き起こすと思う？

- | | | |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 気温上昇 ・ 海面上昇 ・ 住める場所が減る（小さい島々） ・ 熱中症の人が増加 ・ 子どもが外で遊べなくなる、人出の減少 ・ 日々の生活が不自由になる | <ul style="list-style-type: none"> ・ 植物・生物が減少・変化 ・ 生物多様性の損失 ・ 絶滅危惧種の増加 ・ 食糧難 ・ 飢餓の人が増加 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 異常気象⇒洪水、土砂災害、干ばつ ・ 森林火災 ・ 台風の勢力が強くなる ・ 日本の四季がなくなる ・ 緑が枯れる |
|---|---|---|

カーボンニュートラルを達成して、どんな枚方市になると思う？

- | | |
|--|---|
| <p>【人々の意識の変化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人々の意識の向上 ・ 啓発ポスター・公告の増加 ・ 環境問題に対する意識を持つ人が増える <p>【企業の意識変化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CO2を排出する原因になる製品が減る（製造、需要ともに） ・ プラスチック等のリサイクル率が上がる ・ 流通する製品に再生資源でできたものが増える ・ ビニールやプラスチックをあまり見なくなる ・ 包装量が減る ・ 排気ガスの出るものが減る（車など） ・ 駅が増えている（電車は車よりCO2が少ない） ・ まちのいたるところに再エネ発電施設ができる ・ 企業の再エネ化が推進される | <p>【環境メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 枚方市の知名度が上がる ・ 住む人が増える ・ 平均気温が下がる ・ 緑が増える ・ 環境・経済の両立が可能となる ・ 動植物の数がとても増えて、より身近な存在になる ・ 空気がきれいになる |
|--|---|

テーマ2

地球温暖化に対して、私たちにできることは何だろう？

- 【学ぶ、教える】
- ・ ECOを意識する
 - ・ 日々のニュースに興味・関心を持つ
 - ・ いろいろな人に知ってもらう、教える
 - ・ 現状を調べて理解・把握する、リサーチ
 - ・ 読書（特に環境系）《おすすめ 沈黙の春》
 - ・ 本当に環境に良いのか見極める、批判的思考を持つ
 - ・ 上の世代から教えてもらったことを下の世代に伝える

・自分たちが大人になったとき、子どもへの教育を地球やさしいエコな生活をして教える

【消費】

- ・無駄な消費を減らす（例：付箋を使わない、なるべく紙一枚にまとめる）
- ・使い捨てのものをできるだけ使わないようにする
- ・ファストファッションではなく長く着られる服を買う
- ・必要な物を厳選して使う
- ・再生資源から作られた商品を買う
- ・詰め替え商品を買う
- ・100均の必要性を考える

【地方自治体】

- ・ごみ分別リサイクル
- ・ペットボトルのキャップ集めなどのリサイクル活動
- ・働き方改革などで環境問題に取り組める余裕をつくる（学校でも、企業でも）
- ・徒歩や公共交通機関を使ってCO2の出やすい移動方法を減らす
- ・上の世代に若い人が呼びかける、もしくは手本となって行動する

【具体的な行動】

- ・マイ〇〇（バッグやボトル）をたくさん使う
- ・節電・節水（誰もいない部屋は電気・エアコンを消すなど）
- ・エアコンに頼りすぎない（フロンが出るらしい）
- ・毎日ごみ捨てをする（→日々どれだけのプラスチックごみを捨てているかが分かる）
- ・裏紙を使う（計算用紙などに）
- ・「要らないです」と言う勇気を持つ
- ・食べ残しをしない
- ・エンジンのつけっぱなしをなくす
- ・デジタル化

地球温暖化対策について、多くの人に知ってもらうにはどうする？

【地域】

- ・ポスターを色々な施設に貼る
- ・地産地消の推進

【企業】

- ・企業が再生資源で作られた商品をより流通させる
- ・企業の広告等で推進していく

【話題】

- ・有名人やアニメ・漫画などで啓発となる行動や内容を取り入れる（大人から子供まで）
- ・SNSを利用した啓発活動
- ・芸術業界がエコな流行を作る（ファッションや包装等）
- ・グリーンカーテンなどみどりを増やす

【教育】

- ・知る機会を地方自治体・学校で作る
- ・学校教育に取り入れる（知ること・企画・行動）
- ・より若い世代（小学生）から地球環境を守ろうという教育をする
- ・小・中・高・大で連携して企画を提案したり、教えたり、学んだりする
- ・子どもから親へ地球温暖化は他人事ではないことを伝える

○発表概要

- ・国民としての意識を持って、環境問題に向き合うことが大事、例えば積極的に環境問題についてもニュースを調べるといったことをすべきだ。
- ・世代を通じた環境意識や知識が大事、そのため教育分野でも環境配慮に関する勉強を行う必要がある。
- ・大量消費を無くすことでごみ量を減らし、また再生資源から作られたものを積極的に選択していくべき。
- ・ポスターで環境問題や環境保全活動を広めたり、有名人やアニメなどで環境配慮啓発に関する内容を入れるといいと思う。
- ・学校、地方自治体でより、環境について知る機会を増やす企画を考えるべき。

【D グループ】



○資料概要

テーマ1

地球温暖化は、どんな影響を引き起こすと思う？

- ・ 在宅が多くなる
- ・ ホッキョクグマがいなくなる
- ・ インドア派が増える
- ・ 巣ごもり需要が増える
- ・ 海面上昇（南極の氷が融ける）
- ・ 肌が焼ける
- ・ 半裸の人が増える
- ・ 動植物が北上する
- ・ 綿や麻などの通気性のよい商品が
- ・ アイスが売れる

カーボンニュートラルを達成して、どんな枚方市になると思う？

- ・ 道路に草が生える
- ・ 森林が増える
- ・ 空気がきれいになる
- ・ みんな緑のカーテンをやっている
- ・ リサイクルショップが増える
- ・ 銭湯が増える。
- ・ ヤンキーのバイクが減りそう
- ・ 灰色のジャングルがなくなる
- ・ 電気自動車が走っている
- ・ 桜の季節に桜が見られる
- ・ 枚方市の借金が増える
- ・ アウトドア派が急騰
- ・ エアコンを使用する人が減りそう

テーマ2

地球温暖化に対して、私たちにできることは何だろう？

- ・ 省エネを心がける
- ・ エアコンを使わずうちわを使う
- ・ 陽の出ている間は電気を付けない
- ・ ドライヤーをかける前にタオルドライをしっかりとる
- ・ エアコンの温度を国が定めた気温に設定する
- ・ 自動車以外の乗り物を使う
- ・ トイレの大小を分けて流す
- ・ 冬は暖房を使わず厚着する
- ・ 温かい物を食べる
- ・ 寒い時は全力疾走で移動する

- ・高山地帯もしくは高い所に住む
- ・家以外で過ごす

- ・花を育てる
- ・未使用の土地に木を植える
- ・エコ袋を持っていく
- ・詰め替え用の物を買う

地球温暖化対策について、多くの人に知ってもらうにはどうする？

- ・マスコットキャラクターを作る
- ・SNSで呼びかける
- ・ポスター作製
- ・人気のある芸能人にポスターに写ってもらう
- ・学校などで環境についての紙を使う
- ・AC JAPANに頼む
- ・イベントをやる
- ・施設を作る
- ・家の設計を少し変える
- ・身近な人に話す

○発表概要

- ・ホッキョクグマがいなくなる、南緯の動植物が北上するなど生態系への影響が懸念される。
- ・カーボンニュートラルを実現した社会では、町全体に緑が増えると思う。
- ・みんなのできる取り組みは、省エネを心がける（エアコンを使わずうちわを使う、日が出ている間は電気を付けないなど）ことである。
- ・暖房を使わず厚着する、温かい物を食べるなどの生活における小さな工夫も大事だと思う。
- ・地球温暖化対策におけるマスコットキャラクターを作成し、キャラクターで宣伝やPRを行えば多くの人の関心を高められる。
- ・また、そのキャラクターでSNS告知、ポスター作製などもできる。

【E グループ】



テーマ1

地球温暖化は、どんな影響を引き起こすと思う？

- ・ 気温の上昇
- ・ 暑い
- ・ 気候変動
- ・ 海面上昇
- ・ 氷河が融ける
- ・ 干ばつ
- ・ 砂漠化
- ・ 雨が強くなった
- ・ 沈黙の春
- ・ グレタトゥーンベリ
- ・ 北海道で米が作れる
- ・ 牛さんが熱中症で牛乳が取れない
- ・ メタン
- ・ 春・秋が短い
- ・ 夏と冬が長くなっている
- ・ 森林破壊
- ・ COP25

カーボンニュートラルを達成して、どんな枚方市になると思う？

- ・ 電気の無駄遣いをなくす
- ・ CO2の排出量を減らす
- ・ 自然を利用した発電をする
- ・ 自家発電が増える
- ・ ソーラーパネルが増える
- ・ 火力発電所が減る
- ・ フードロスをなくす
- ・ リサイクルできる場所を増やしてほしい
- ・ ごみの排出量を減らす
- ・ 公共交通機関がもっと発展・発達する
- ・ ガソリンスタンドが減る
- ・ 気温が下がる
- ・ 市内の緑が増える
- ・ 紙製品が増える
- ・ 世界中の人が楽しく暮らせる生活
- ・ 笑顔で生きられる

テーマ2

地球温暖化に対して、私たちにできることは何だろう？

- ・ 電気のつけっぱなしをしない
- ・ 節電・節水
- ・ エコバッグを持っていく
- ・ リサイクルボックスなどを活用する
- 【買いすぎない・工夫して料理する・食べきる】
- ・ 食べ残しを減らす、しない、食べきる
- ・ 消費期限を意識する
- ・ 包装の少ない商品を買う
- ・ ごみを減らす
- 【インスタ・ツイッター、学校、資料づくり】
- ・ 地球温暖化問題についてもっと知る

- ・勉強する
- ・学んだことを広げる、拡散する
- ・たくさんの人と実行する
- ・仲間を集める

- ・植樹

地球温暖化対策について、多くの人に知ってもらうにはどうする？

- ・環境にやさしい商品を発明する（洗って再利用できるストロー・ラップ）
- ・マクドナルドみたいな企業が増えるようにする（プラスチック→紙）
- ・温度化の現状を見える化 公共施設や駅、写真の掲示
- ・校内・公害に向けてポスター作り
- ・キャンペーンをする
- ・学んだことを知ってもらえるような場を作る（ワークショップ、プレゼン、ラジオ、SNSなど）
- ・テレビのCMやYouTubeの広告等で広める
- ・（有名人）がSNSで広める
- ・外で活動する（ごみ拾い）
- ・地域のみんなで植物を植える（仲間を集める）
- ・LHRで取組をする
- ・授業に入れる（講演会、模擬国連）
- ・エコになるとお得になるということも広める（働いている世代）

○発表概要

- ・気温上昇が起こっており、春・秋の期間が短く夏・冬の期間が長くなってきているように感じる。
- ・雨が強く降ったり、気候変動が心配である。
- ・みんなのできる対策は、節電・ごみの減量などであるが、特に物の買いすぎ・食べ残しをしないなどに意識をしていきたい。
- ・洗って再利用できるストロー・ラップなどの環境にやさしい商品や、プラスチック容器を紙容器に切り替える企業が増えることも大事だ。
- ・また、温度化の現状を見える化するような仕組み（公共施設や駅での写真の掲示）、ポスター作り、温暖化対策との関連したキャンペーンなども広く知ってもらうには必要だと思う。
- ・エコ活動がお得になる活動だと働いている世代に広めることが大事だ。

6. 参加者アンケート結果

質問1：本日のワークショップはいかがでしたか？	
<p>まあまあおもしろかった 8.3%</p> <p>おもしろかった 91.7%</p> <p>(n=24)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他校の人や大学生など、いろんな人と意見交流できて、面白かった。 ・温暖化について考えるいい機会になったし、素敵な仲間に出会えたから。 ・自分とは全然違った、でも納得できる意見がたくさんあったから。 ・色々な高校、大学の人とSDGs、地球温暖化について学び深められたから。 ・普段触れることのない「環境」について学べて面白かった。
質問2：地球温暖化に対する関心は高まりましたか？	
<p>まあまあ高まった 8.3%</p> <p>あまり変わらない 4.2%</p> <p>高まった 87.5%</p> <p>(n=24)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他校の人や大学生など、いろんな人と意見交流できて、面白かった。 ・温暖化について考えるいい機会になったし、素敵な仲間に出会えたから。 ・自分とは全然違った、でも納得できる意見がたくさんあったから。 ・色々な高校、大学の人とSDGs、地球温暖化について学び深められたから。
質問3：今回学んだことは、今後の生活で活かせると思いますか。	
<p>活かせると思った 100.0%</p> <p>(n=24)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人でできることも少なからずあって、関心を持てた。 ・地元の枚方で色々な取組をしていることを知ったから。 ・自分だけでなく、周りの人達の地球温暖化への熱量を感じれたから。 ・いろんな人のアイデアを聞いてやってみたいと思ったから。 ・ずっと住みやすいようにしていくためには自分たちが問題に対して向き合わないといけないと思ったから。
質問4：今回のワークショップでよかったことは何ですか。	
<p>様々な人と話す機会があったこと 22</p> <p>地球温暖化について知識が深まったこと 6</p> <p>話し合うことで気づきがあったこと 6</p> <p>(n=24)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方高校生との話し合いで自分自身気づかされることが多かったこと。 ・コロナ禍もあり、他の学校の人と関わるのが少なかったのが新鮮だったこと。

質問5:環境分野において最も関心のあること、取り組んでみたい活動などは何ですか。

- ・工業分野、発電や工場とかについて
- ・CCUSの導入に関心がある
- ・海のプラスチック問題
- ・様々なボランティア活動や意見交流
- ・市内にウォーターサーバーを設置するのはとても良いと思ったので、コロナが落ち着いたらぜひ設置してほしい
- ・生物と環境に関わるもの
- ・様々なボランティア活動や意見交流
- ・イベント活動のサポート
- ・海をきれいにする

質問6:ご意見・ご感想をご自由にお書き下さい。(自由意見)

- ・プレゼンの大事なポイントを学んだ。話は簡潔にするに限る。いろんな意見や考えを知れて楽しかった。席移動して話し合いしたかったです。聞き飽きるほど聞いた話が多かったので、もう少しテーマを狭くして、+専門家を招いてすればもっと具体的で地に足の着いた案が出たのかなあと感じました。何より、まず開催して下さい、また招待して下さいありがとうございます。
- ・正直、呼ばれて来ただけなので、適当にやって帰ろうと思っていましたが、皆さんの発表を聞いて、理由はどうであれ真剣に活動に取り組んでいるのだとわかった。
- ・ヨーロッパが二酸化炭素の削減を経済発展と両立したことを初めて知った。もっと詳しく調べたい。
- ・様々な人と話してとてもいい学びになりました。今後も様々な場所や年齢層で行ってほしいです。

ただ、こういうSDGsを扱う場であり、啓発していく立場だからこそ、無駄な紙を消費しないために、紙は一枚しか使わないだとか、たくさん大人や大学生が来ているのだからパソコンなどでメモして模造紙と同じ大きさであるスクリーンに映したり、上着を脱ぐほどエアコンを付けず、まだ耐えられる気温だと思うし、換気の観点から窓を開けたりした方がよいのではと思いました。

- ・知らない人達だったのに最後は楽しくおわれたので良かったし、環境についても考えてよかったです。
- ・また機会があればぜひとも参加したかったです。議題も自分にとって関心が高い内容でしたし、何より他校生と関わるのはとても楽しかったです。
- ・今日のワークショップはたくさんのことを学びきっかけになったし、知らない人と話すというおもしろいことを体験できてよかったです
- ・大学生の協力もあり、他校の高校生の事交流できて、環境問題解決に少しでも向き合えて、すごく楽しかったし、良い機会になりました。またこのような場があれば参加したいと思います。ありがとうございました。
- ・他の班との交流の時間を設けるともっと楽しく意見交換できると思う
- ・環境問題に対して難しくとらえるのではなく、楽しくするのは良いと思った。今回のワークショップも楽しく話し合いながらできたのでとても良い経験でした。
- ・この様な他の人と意見を交流する場は何度やっても自分が知らなかった知識や考え方がたくさん出てきて飽きないし、どれだけやってもためになるなあと思いました。今回は特に他の学校の人ともできたのでより楽しかったです。

今回は貴重な機会、ありがとうございました!!

- ・今回のいろいろな学校の人達と交流しながら共通の課題について取り組むのはとても楽しく、いろいろな意見の事もよく知ることができてとても楽しかったです。これからはこういう参加できることには参加していこうと思いました。
- ・今日のこのワークショップを受けてみて様々な意見を知ることができて成長できた気がしたので受けてよかったなと思いました。
- ・他の高校の人達と意見を交わす良い機会をありがとうございました。
- ・環境問題について知らなかったことを違う高校の方々と話し合っただけで色々知れてよかったです。とても勉強になりました。
- ・SNSなどの広告で若者よりも主婦が興味のある人に宣伝してもらった方がいいと思った。エコとお得を結びつける方がみんな食いつくと思った。
- ・初めて会う人と話し合う機会が今まであまりなかったので、とても新鮮でおもしろかったです。地球温暖化についての理解も深めることができたので本当に良い経験でした。
- ・今日はこのような場を設けていただき、本当にありがとうございました。様々な学校の方とお話しでき、貴重な機会になりました。今日の学びを、学びだけで満足せず、自分の身の回りで行動を起こしていきたいです。

- ・枚方市地球温暖化対策実行計画の存在すら知らなかったもので、もし、次できた時は、もっと枚方市に内容等広めてもらいたいと思う。また、計画は簡単に絵などを使ってできるだけ、文字を少なくして提示してもらいたい。
- ・コロナのため他校との交流がなかったので、このような交流は初めてで新鮮感があった。グループ内での発表や他グループの発表を聞いてより知識が深まった実感があり、とてもいい経験だったと感じました。
- ・学校でも過去にも地球温暖化対策についての活動をしたので、今日の活動でさらに関心を持つことができました。